

ブラウブリッツ秋田

サステナビリティ基本方針

2026年6月26日
株式会社ブラウブリッツ秋田

【サステナビリティ基本方針】

Der Blaue Planet (The Blue Planet) 「秋田の街・人・夢を、次の世代へ。」

ブラウブリッツ秋田は、「スポーツを通じた街づくり・人づくり・夢づくり」を経営理念に掲げ、「挑戦を秋田の文化に」という信念のもと、「秋田一体」となって歩んできました。

しかし、気候変動をはじめとする環境・社会課題は、自然災害の発生や気温上昇による公式試合の延期・中止だけでなく、サッカー文化の土台として私たちが大切にしてきた秋田の自然・地域コミュニティ、そして次世代の未来を揺るがしています。

「ブラウブリッツ秋田があるから〇〇〇を街中に」その言葉を現実のものにするためには、クラブ活動が環境・社会に与える影響に誠実に向き合い、持続可能な形でクラブを運営していくことが不可欠です。「〇〇〇」の形は一つではありません。それぞれの立場からの、秋田のため、地球のための行動が、この言葉を形にしていきます。

それだけではなく、少子高齢化が全国に先駆けて進む秋田県が直面する課題は、地域固有のものではなく、多くの地域社会がこれから向き合う時代共通の課題です。メインコンセプトである「Der Blaue Planet」はドイツ語で「青い惑星」を意味します。ブラウブリッツ秋田もドイツ語のBlauが入っているからこそ、秋田でのサステナビリティの活動を広げていくことは、地球を守り、よりよい未来を次世代へつなぐための挑戦であると信じています。

本方針は、環境(Environment)、社会(Social)、ガバナンス(Governance)の観点を経営に取り入れるESG経営の考え方を土台に、AKITA STYLEが示す「誠実・献身・躍動・粘り強さ・挑戦」の精神をもって、ブラウブリッツ秋田がファン・サポーター、企業、自治体、NPO、地域の皆さまとともにサステナビリティに取り組むための、クラブとしての約束です。

E:環境(Environment)

長期ビジョン

秋田県は、白神山地をはじめ、男鹿半島、鳥海山、十和田湖など、豊かな自然環境と多様な生態系に恵まれています。また、風力・地熱をはじめとする再生可能エネルギーの高いポテンシャルを有し、持続可能な地域社会の実現のための大きな可能性を備えています。

ブラウブリッツ秋田は、そうした秋田のかけがえのない自然環境——海・山・川・海岸線・農地——を守り未来へつなぐため、クラブ活動に伴う環境負荷を段階的に削減し、地域とともに脱炭素・資源循環・生物多

様性保全を推進します。最終的には、2050年までにカーボンニュートラルを実現することを目指し、スポーツを通じてファン・サポーター、地域企業・行政・パートナーとともに気候変動対策を推進します。

主な目標・KPI

※ GHG排出削減の数値目標はGHG排出量算定の完了(2026年6月予定)後に確定し、本方針に追記します。

- ・ ブラウブリッツ秋田は、クラブ活動に伴うScope1・Scope2のGHG排出量について、2050年までの実質ゼロを目指し、段階的な削減目標を設定します。Scope3については、GHG算定の完了後に測定・削減目標の設定に取り組みます。
- ・ Scope 1・2・3 GHG排出量の算定・公開
- ・ 中長期的な排出削減目標の設定(算定完了後に策定)
- ・ 1試合あたり・観客1人あたりの排出原単位の継続的な改善

取り組み施策

各カテゴリの個別方針は別途展開します。

(1)気候変動・エネルギー

GHG排出量(温室効果ガス)の年次算定・開示を継続します。施設管理者と連携したエネルギー効率化および再生可能エネルギー調達の推進を検討します。

(2)環境負荷の少ない移動手段

ファン・サポーターおよびスタッフの環境負荷の少ない移動手段(公共交通機関・自転車等)の利用を促進します。そのために、ホームゲームにおけるファン・サポーターの移動手段の把握と環境負荷低減に向けた移動の取り組みを推進します。

(3)資源循環・廃棄物

使い捨てプラスチックの段階的削減・廃止に取り組みます。全施設における廃棄物管理・リサイクルの体系化を進めます。

(4)水の利用

施設における水の効率的な利用と管理を推進します。

(5)生物多様性

秋田の自然生態系を支援する活動への継続的な参画を行います(植樹や河川・海岸清掃など)。

S:社会(Social)

長期ビジョン

秋田県には、竿燈まつりや男鹿のなまはげ、大曲の花火大会をはじめ、長年受け継がれてきた豊かな歴史と文化があります。また、ホームゲーム時には秋田県内外から多くの人が集い、人の流れが生まれます。その熱気は、地域の飲食店や公共交通、観光などへ広がり、地域経済を支える力となります。

私たちは、クラブ理念「ブラウブリッツ秋田があるから〇〇〇を街中に」のもと、その地域の誇りを未来へ繋ぎながら、スポーツの持つ力を通じて、秋田の持続可能な社会の実現に貢献します。

人口減少・高齢化など、全国に先駆けて社会課題に直面する秋田だからこそ、私たちは地域をつなぐハブとして、人と人、世代と世代、現在と未来を結びます。

ブラウブリッツ秋田の活動が地域の活力となり、その活力がクラブの成長を支え、さらに秋田へ新たな活力として還元されていくような、地域とクラブがともに成長し続ける好循環を創出します。

主な取り組み施策

(1)地域共生

試合日・非試合日を問わず、地域コミュニティとの連携・共創活動を継続します。スポーツを通じた秋田の活性化に貢献します。

(2)健康・スポーツ振興

健康体操・栄養指導等を通じた県民の健康寿命延伸と生活の質の向上に貢献します。

(3)人権・多様性

選手・スタッフ・パートナーを含むすべての関係者の人権を尊重し、多様な人材が活躍できる環境を整備します。

(4)次世代育成

アカデミー・スクール活動・環境教育(ecoサッカー教室等)を通じて、子どもたちに夢と環境への意識を届けます。

(5)地域経済への貢献

クラブ活動・ホームゲームを通じた観光・交流人口の増加と地域経済の活性化に取り組みます。アウェイツーリズムを促進し、地域経済の活発化を図ります。

G:ガバナンス(Corporate Governance)

長期ビジョン

ブラウブリッツ秋田は、創設以来、地域の皆さまに支えられながら歩みを重ねてきました。これからさらに地域に欠かせない存在となるために、高い透明性と誠実な対話を基盤としたクラブ運営を推進します。

サステナビリティに関する取り組みやその成果・課題を適切に開示し、責任ある意思決定と事業活動を通じて、ファン・サポーター、地域、パートナーをはじめとするすべてのステークホルダーとの信頼関係をより強固なものとしていきます。

法令遵守と健全なガバナンス体制のもと、社会から信頼されるクラブ運営を実現し、地域とともに価値を生み出し続ける、地域に欠かせない存在として、持続可能な未来づくりに挑戦し続けます。

主な取り組み施策

(1)情報開示

GHG排出量の年次算定・公表を継続します。SPL評価結果およびサステナビリティ取り組み状況を公式ウェブサイト等で開示します。

(2)リスク管理

気候関連リスクをクラブ経営課題として認識し、対応策を継続的に検討・実行します。

(3)コンプライアンス

Jリーグ規約・関連法令を遵守し、倫理的なクラブ運営を徹底します。

(4)ステークホルダー対話

ファン・地域・パートナーとの継続的な対話を通じて、サステナビリティへの理解と連携を深めます。

(5)持続可能な調達

グッズ製作における材料・ホームゲーム時のスタジアムグルメで提供される食材等の調達において、環境・倫理面に配慮したサプライヤーとの関係構築を推進します。

(注記)

本方針は、Jリーグ Sport Positive Leagues(SPL)への対応を含む、ブラウブリッツ秋田のサステナビリティ推進の基本的な考え方を示したものです。GHG排出削減の数値目標はGHG排出量算定の完了(2026年6月予定)後に確定し、本方針に追記します。また、各カテゴリの個別方針(環境負荷の少ない移動に関する方針、資源循環・廃棄物方針、水利用方針、生物多様性方針、持続可能な調達方針)は、本基本方針に紐づく関連方針として順次策定します。

制定:2026年6月26日

株式会社ブラウブリッツ秋田

版数	発行日	改訂履歴
第1版	2026年6月26日	初版発行
第1.1版	2026年7月8日	基本方針の「本文」および「社会」欄の軽微な文言の修正